

# 令和7年度 大分県スポーツ推進審議会

◆ 期 日 令和8年3月25日（水）

◆ 場 所 アートホテル大分

大分県教育委員会



## 次 第

○ 開 会

○ 挨 拶

1 議 事

第1号議案 会長・副会長の選出

第2号議案 令和7年度体育・スポーツに関する補助金・負担金（案）  
について

2 報告・協議

（1）第2期大分県スポーツ推進計画の進捗状況について

- ①児童・生徒の体力の現状
- ②総合型地域スポーツクラブの現状
- ③競技力向上に向けた取組
- ④スポーツツーリズムの推進
- ⑤障がい者スポーツの推進

（2）本県における学校部活動の地域展開について

（3）第2期大分県スポーツ推進計画の改定について

- ①県民のスポーツに関する実態調査の報告
- ②推進計画の改定スケジュール（案）

○ 閉 会

## 大分県スポーツ推進審議会の委員について

(自)令和 8 年3月12日  
任期  
(至)令和 10 年3月11日

No.	区 分		委員名	性別	役 職 名 等
	分野				
1	学校体育		板 井 靖 之	男	大分県中学校体育連盟会長
2			佐 保 宏 二	男	大分県高等学校体育連盟会長 ★
3	競技スポーツ		小 澤 正 風	男	(株)大分フットボールクラブ代表取締役社長
4			羽 田 野 明 美	女	一般財団法人大分陸上競技協会専務理事
5			小 笠 原 順 子	女	一般社団法人ゆれる代表理事 (水泳オリンピック)
6			矢 田 成 昭	男	一般社団法人 日本車いすバスケットボール連盟副会長
7			池 部 純 政	男	大分県パラスポーツ指導者協議会会長
8		生涯スポーツ		由 見 由 美	女
9			牧 和 志	男	大分県スポーツ少年団本部長
10			高 山 誠 一	男	大分県スポーツ推進委員協議会会長 ★
11			久 士 目 弘 美	女	大分県総合型地域スポーツクラブ 連絡協議会幹事長
12			横 山 美 智 代	女	公益社団法人日本3B体操協会 大分県支部スタッフ
13	健康・医科学		大 場 俊 二	男	公益財団法人大分県スポーツ協会 スポーツ医科学委員会委員長
14			高 橋 隆 一	男	公益社団法人大分県理学療法士協会副会長
15			平 川 史 子	女	別府大学食物栄養科学部教授
16	体育スポーツ 全般		川 原 ゆ い	女	C.A.N.basketball school&team代表 (中学生地域スポーツクラブ指導者) ★
17			竹 田 隆 行	男	日本文理大学経営経済学部教授
18	公募		穴 井 洋 一 郎	男	大分県少林寺拳法連盟理事長
19			梅 木 宏 美	女	九重町総合型地域スポーツクラブこのえ夢ク ラブ事務局長兼クラブマネージャー
20	行政	市町村	古 賀 精 治	男	大分県市町村教育委員会連合会会長

★印は新委員

# 1 議事

## 第1号議案 会長・副会長の選出について

会長	
副会長	
副会長	

※参考

大分県スポーツ推進審議会条例（昭和37年3月31日条例第18号）【抜粋】

（会長等）

第6条 審議会に、会長1名及び副会長2名を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によってこれを定める。

3 会長は、審議会を代表し、議事その他の会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

1 議事

第2号議案

令和8年度体育・スポーツに関する補助金・負担金（案）について

(単位：千円)

要求部局	分野	区分	事業名等	補助金・負担金名	交付先	補助金・負担金 当初予算要求額			
						R8	R7		
教育	① 生涯スポーツ関係	負担金	県民スポーツフェスティバル開催事業	大分県民スポーツ大会運営費	大分県民スポーツ大会実行委員会	9,345	9,042		
				県民すこやかスポーツ祭運営費	県民すこやかスポーツ祭実行委員会	2,015	2,015		
			生涯スポーツ振興費	大分県スポーツ推進委員協議会運営費	大分県スポーツ推進委員協議会	600	600		
				日独スポーツ少年団同時交流費	公益財団法人大分県スポーツ協会	400	0		
		① 合計						12,360	11,657
	② 競技スポーツ関係	補助金		競技スポーツ振興費	全国大学選抜相撲宇佐大会運営費補助金	全国大学選抜相撲宇佐大会実行委員会	120	120	
				選抜高校相撲宇佐大会運営費補助金	選抜高校相撲宇佐大会実行委員会	120	120		
		負担金	スポーツ振興基金	大分県スポーツ振興基金事業費	大分県スポーツ振興基金運用委員会	17,579	17,119		
				スポーツ大分パワーアップ事業	スポーツ大分パワーアップ事業費	公益財団法人大分県スポーツ協会	110,000	110,000	
			競技スポーツ振興費	大分県スポーツ協会運営費	公益財団法人大分県スポーツ協会	7,351	7,350		
			国スポ参加費	国民スポーツ大会九州ブロック大会参加費	国民スポーツ大会参加費	公益財団法人大分県スポーツ協会	68,990	57,049	
				167,473			108,545		
				国民スポーツ大会九州ブロック大会分担金	国民スポーツ大会九州ブロック大会開催県実行委員会	2,500	2,500		
			新チーム大分強化事業	大分県競技力向上対策事業費	大分県競技力向上対策本部	126,351	126,426		
		世界に羽ばたくアスリート強化事業	世界に羽ばたくアスリート強化事業費補助金	20,000		20,000			
		② 合計						520,484	449,229

(単位：千円)

要求 部局	分野	区分	事業名等	補助金・負担金名	交付先	補助金・負担金 当初予算要求額		
						R8	R7	
教育	③ 学校体育関係	補助金	学校体育連盟補助	全国高等学校総合体育大会参加費補助金	大分県高等学校体育連盟	4,500	4,500	
				全国高等学校定時制・通信制体育大会参加費補助金		2,400	2,400	
				全国高等学校体育連盟研究大会大分大会補助金		800	0	
				九州地区盲学校体育大会参加費補助金		150	150	
				九州地区聾学校陸上競技大会参加費補助金		150	0	
				九州地区聾学校体育・文化連盟大分大会開催費補助金		0	300	
				大分県高等学校体育大会参加費補助金		5,100	5,100	
				大分県高等学校定時制・通信制体育大会開催費補助金		400	400	
				各種大会救護員等派遣費補助金（高体連）		700	700	
				大分県中学校総合体育大会開催費補助金		850	850	
				全国・九州地区体育大会派遣費補助金		大分県中学校体育連盟	1,275	1,275
				各種大会救護員等派遣費補助金（中体連）			544	544
			安全・安心な学校部活動支援事業	安全・安心な学校部活動支援事業費補助金	学校管理自動車等安全運行協議会（県立学校）	19,496	19,496	
			運動部活動地域展開推進事業 【旧】学校部活動改革サポート事業	【新規】運動部活動地域展開推進事業費補助金	各市町村等	42,000	0	
				中学校部活動指導員活用事業費補助金		33,153	31,081	
				公立中学校における学校部活動の地域移行促進事業補助金		6,000	15,000	
			負担金	全国中学校体育大会開催費補助事業	全国中学校体育大会開催費補助事業	令和7年度全国中学校体育大会大分県実行委員会	0	7,000
③ 合計						117,518	88,796	

(単位：千円)

要求部局	分野	区分	事業名等	補助金・負担金名	交付先	補助金・負担金 当初予算要求額	
						R8	R7
福祉保健	④ 障がい者スポーツ関係	補助金	障がい者スポーツ振興事業	障がい者スポーツ団体振興事業費	大分県障がい者スポーツ協会	1,500	1,500
			障がい者地域スポーツ活動支援事業	障がい者スポーツ団体地域活動支援事業費	大分県障がい者スポーツ協会	1,920	1,920
			知的障がい者社会参加促進事業	大分県ゆうあいスポーツ大会開催費	大分県ゆうあいスポーツ大会実行委員会	1,000	1,000
			④ 合計				
企画振興	⑤ 国際大会誘致等	負担金	文化行政推進事業	別府大分毎日マラソン大会負担金	別府大分毎日マラソン大会実行委員会	7,480	7,480
			大分スポーツ地域活力創出事業	大分県スポーツ合宿誘致推進協議会ほか補助金・負担金	大分県スポーツ合宿誘致推進協議会	49,873	46,615
			ツール・ド・九州推進事業	ツール・ド・九州実行委員会ほか負担金	ツール・ド・九州実行委員会ほか	81,739	73,573
			おおいたラグビー未来づくり事業	One Rugby, One Oita推進委員会負担金	One Rugby, One Oita推進委員会負担金	23,532	22,362
			ジュニアアスリート世界挑戦事業	【新規】大分県スポーツクリニック実行委員会負担金ほか	(仮)大分県スポーツクリニック実行委員会ほか	13,750	0
			⑤ 合計				
5分野の総合計額						831,156	704,132

【参考】

令和8年度 大分県スポーツ関係政策予算について

(単位：千円)

要求部局	担当課	区分	事業名等	補助金・負担金 当初予算要求額
				R8
教育庁	① 体育保健課	継続	地域のスポーツライフサポート事業	17,759
		継続	世界に羽ばたくアスリート強化事業	20,000
		継続	スポーツ大分パワーアップ事業	110,000
		継続	新チーム大分強化事業	130,500
		継続	大分県スポーツ振興基金事業	22,332
		継続	安全・安心な学校部活動支援事業	22,551
		特別枠	運動部活動地域展開推進事業	150,485
	① 合計			
企画振興部	② スポーツ振興課	継続	プロスポーツ連携事業	33,490
		一部新規	大分スポーツ地域元気創出事業	62,475
		特別枠	おおいたラグビー未来づくり事業	23,819
		継続	ツール・ド・九州推進事業	82,579
		特別枠	スポーツ施設魅力向上事業	24,456
		特別枠	ジュニアアスリート世界挑戦事業	15,351
② 合計				242,170
福祉保健部	加③ 社会参 進室	一部特別枠	パラスポーツ普及強化事業	15,547
③ 合計				15,547
3課の総合計額				731,344

(1) 第2期大分県スポーツ推進計画の進捗状況について

①児童・生徒の体力の現状

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

◇実施期間 令和7年5月～7月末

◇調査対象 小学校5年生、中学校2年生

◇調査事項 ①児童生徒に対する調査:実技8種目及び質問紙調査 ②学校に対する質問紙調査

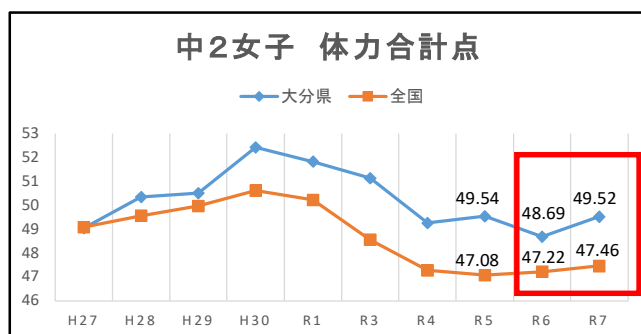
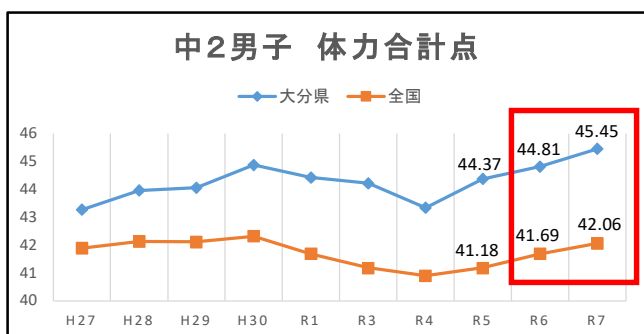
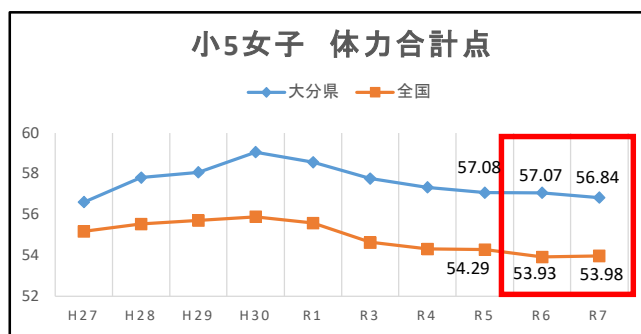
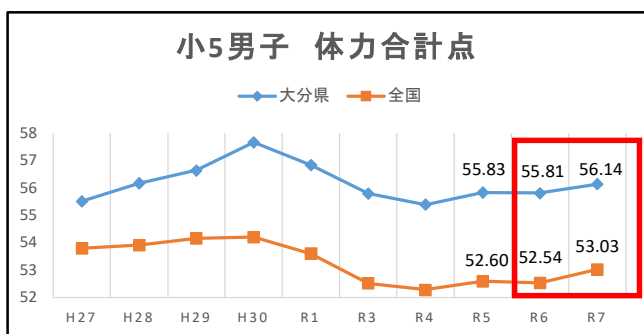
1. 体力合計点に見る全国順位の推移

対象		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
小学校5年	男子	12 (1)	9 (1)	8 (1)	7 (1)	5 (1)	1 (1)	2 (1)	中止	1 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)
	女子	23 (4)	13 (2)	10 (1)	7 (1)	7 (1)	3 (1)	4 (1)		2 (1)	3 (1)	6 (1)	2 (1)	4 (1)
中学校2年	男子	21 (3)	18 (3)	11 (2)	8 (1)	8 (1)	6 (1)	3 (1)		2 (1)	5 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	女子	41 (7)	36 (6)	23 (5)	15 (2)	15 (2)	8 (1)	9 (1)		5 (1)	7 (1)	4 (1)	10 (2)	5 (1)

※   は最高値

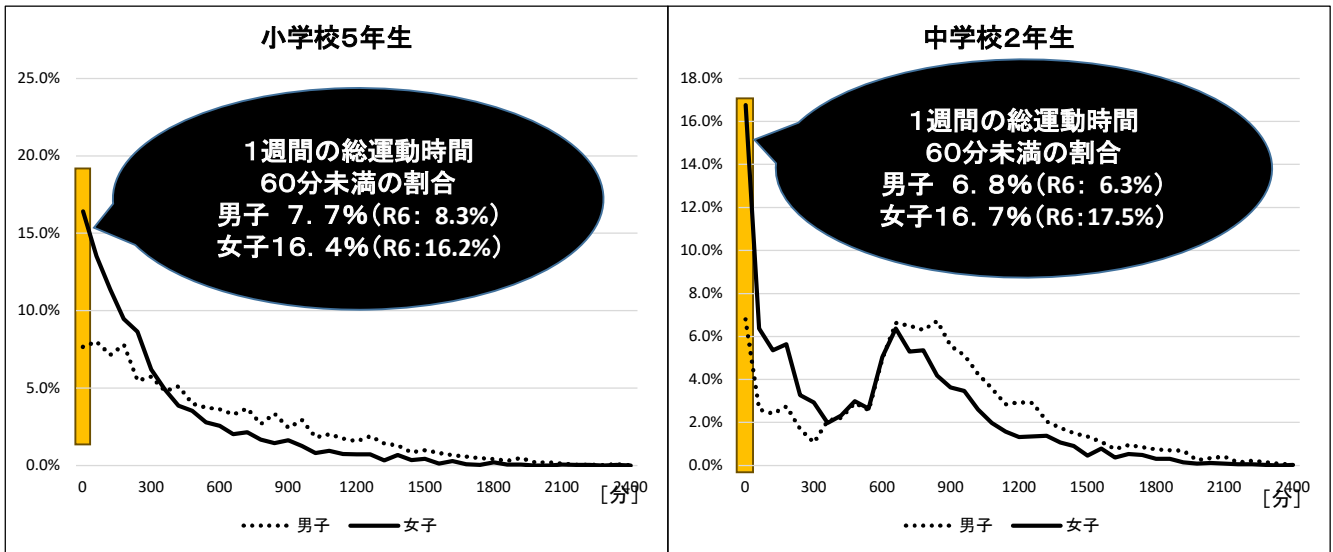
※ ( )内の数字は九州順位

2. 体力合計点の状況(点)



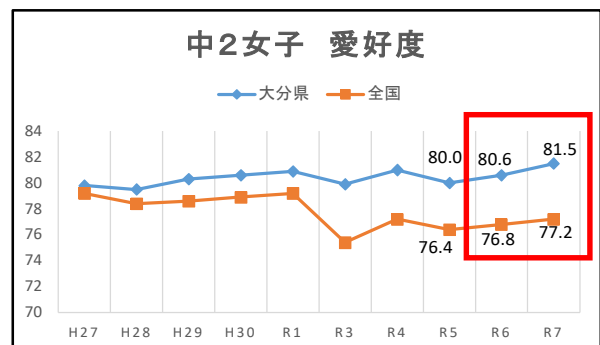
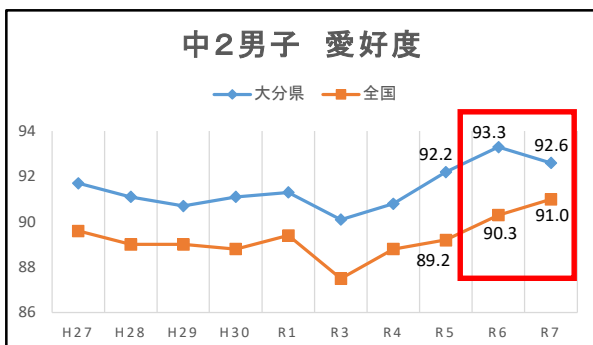
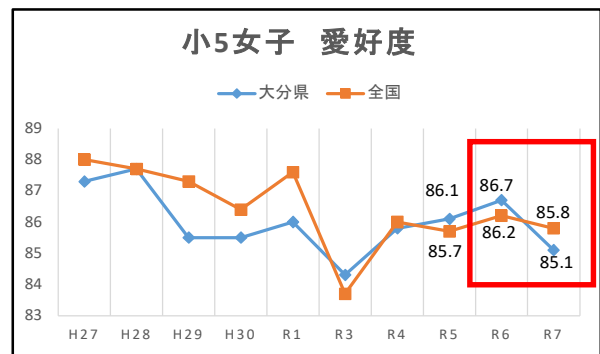
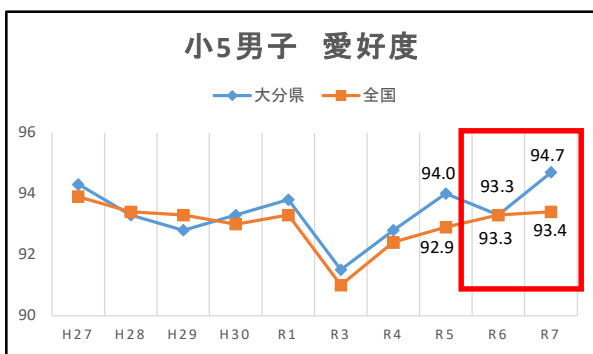
### 3. 1週間の総運動時間の分布

1週間のうち、体運動(身体を動かす遊びを含む)やスポーツをどのくらいしていますか。



### 4. 運動やスポーツに対する愛好度(%)

運動やスポーツをすることが好きですかという問いに、「好き」「やや好き」と回答した児童生徒の割合(%)



## ②総合型地域スポーツクラブの現状

### 大分県内の総合型地域スポーツクラブの現状について

#### 1 県内の状況

##### (1) クラブ数の推移

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
44	44	43	45	46	45	31

##### ※登録制度運用

- ・県内登録数31クラブ
- ・全国1,087クラブ(R6現在)

##### ※登録基準

- ・多目的のスポーツ実施
- ・適切なスポーツ指導者配置
- ・地域住民が主体的に運営
- ・定款、規約等に基づいて運営
- ・事業計画、予算、事業報告、決算が意思決定機関で議決
- ・多世代を対象
- ・安全管理体制を整備

##### (2) 会員数の推移

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
16,134	14,438	14,811	14,341	14,453	14,351	13,042

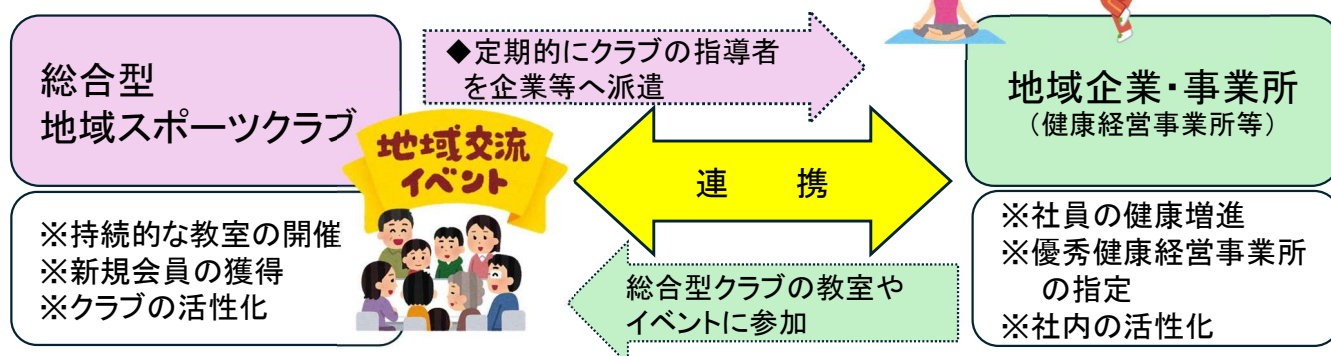
##### (3) JSP〇登録制度に登録していないクラブ (11クラブ 令和7年8月20日現在)

- |                 |       |                   |       |
|-----------------|-------|-------------------|-------|
| ●NPO法人七瀬の里Nクラブ  | 【大分市】 | ●みなみスポーツクラブ       | 【佐伯市】 |
| ●あまがせスポーツクラブ    | 【日田市】 | ●NPO法人おおみちふれあいクラブ | 【大分市】 |
| ●NPO法人洞門元気クラブ   | 【中津市】 | ●OZAI元気クラブ        | 【大分市】 |
| ●姫島ふれあいクラブ      | 【姫島村】 | ●西の台あいあい倶楽部       | 【大分市】 |
| ●大平山湯の街クラブ      | 【別府市】 | ●NPO法人滝尾百穴クラブ     | 【大分市】 |
| ●たのうらビーチスポーツクラブ | 【大分市】 |                   |       |

#### 2 県教委の取組

(例:ヨガ・ダンス)

##### (1) 子育て・働く世代のスポーツライフサポート事業



##### (2) スポーツ医科学の知見活用事業 (健康運動指導士・ヘルスポモーター派遣)

##### 【講師】

- ・健康運動指導士
- ・県教委認定ヘルスポモーター

派遣

##### 【健康体力サポート教室】

- ・総合型クラブ(31クラブ対象)
- ・市町村(公民館・高齢者サロン等)

# 【概要】地域のスポーツライフサポート事業

## 現状・課題

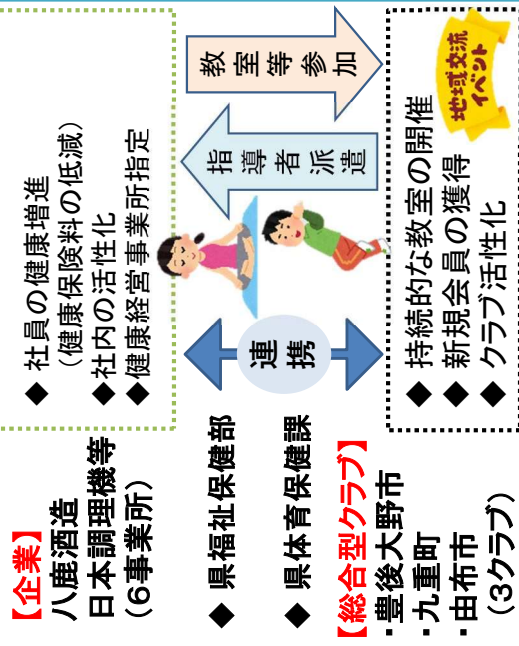
R7～R9 体育保健課

- (1) 本県の20歳以上の週1回以上のスポーツ実施率は、約5割と近年上昇傾向にあるが、国の目標値(7割程度)を下回っており、特に、全国同様に働く世代(30～50歳代)のスポーツ実施率が低い状況  
→事業所と連携して運動やスポーツに取り組める環境の整備が必要
- (2) 休日の中学校運動部活動の地域展開を目指しているが、教職員に代わる地域の指導者が不足  
→子どもたちのニーズに応じた質の高い指導者の養成・確保が必要
- (3) 高齢者のニーズに対応したスポーツ活動が、日常的に行える環境が不足しており、安全で効果的な運動を実施できる運動プログラムを実践指導できる指導者が不足  
→スポーツ医学の知見を学んだ指導者の派遣が必要

年代/年度	R5	R6	R7
30～50歳代	51.0 (45.9)	51.3 (49.6)	55.4 (51.7)
20～80歳代	57.3 (52.0)	57.3 (52.5)	60.7 (51.7)

県スポーツ実施率(%)  
(国平均)

## (1) 子育て・働く世代のスポーツライフサポート事業



## (2) 「地域スポーツ指導者」養成事業

「地域スポーツ指導者養成プログラム」の受講 (大阪体育大学カリキュラム)

【履修内容】

- 受講 20 時間
- オンデマンド受講
- 大阪体育大学認定

【履修内容】

- コーキング力向上
- スポーツ医学
- 体罰・ハラスメント
- スポーツマネジメント

※指導力+高い倫理観を持った指導者養成

※指導者人材バンク登録

- R7年度 県内3大学より受講
- 51名の大学生を教育委員会が認定

## (3) スポーツ医学知見活用事業

R2～7年度 ヘルスポロモーター認定者70名  
※R7年度 派遣者12名

【ヘルスポロモーター活動内容】

- ★ 体力測定の実施・評価
- ★ 運動プログラムの作成
- ★ 運動の実践指導

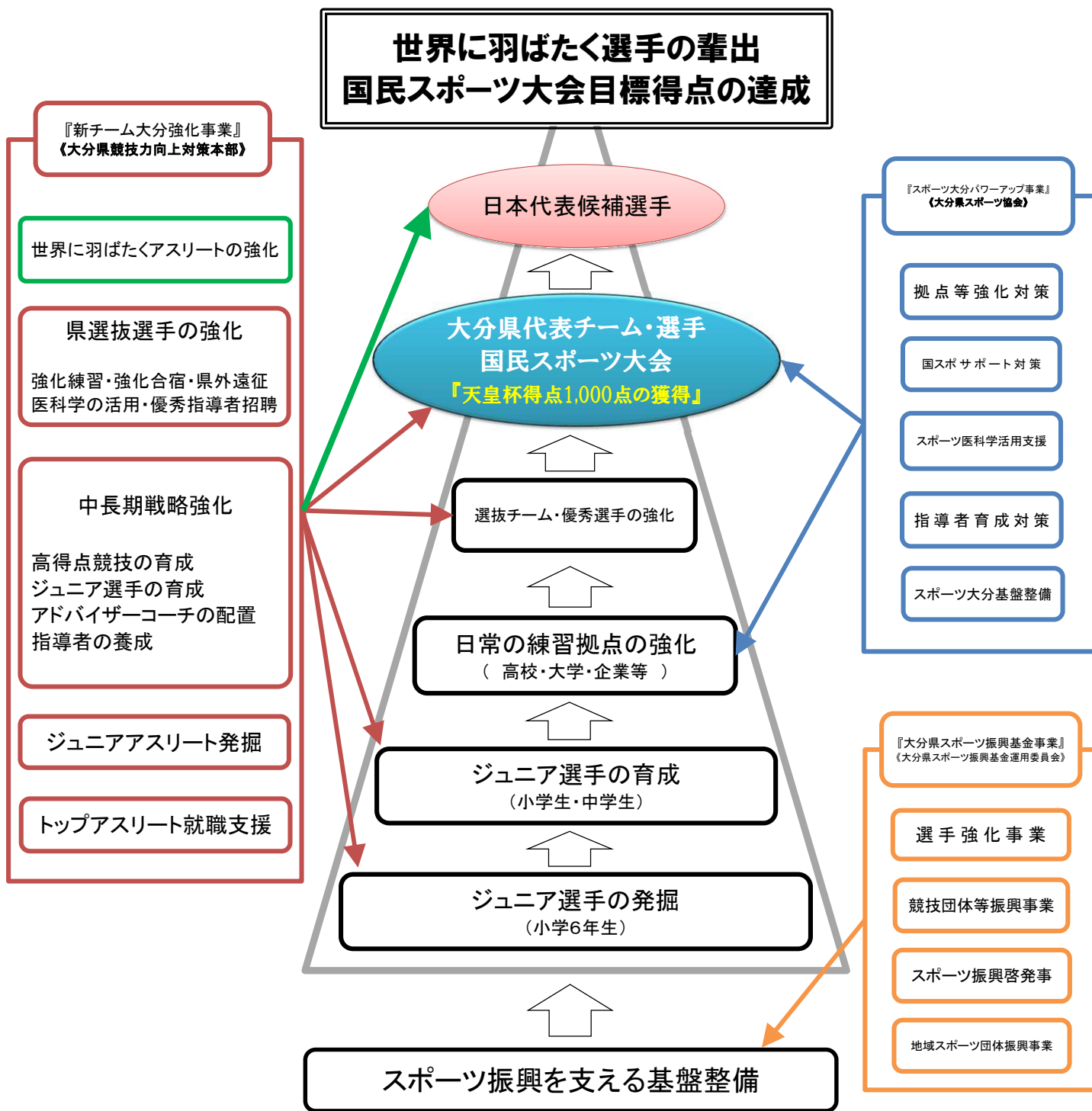
・体力測定や健康体力サポーター教室の開催により運動の必要性を体感し、運動意欲を刺激  
・定期的に測定や運動処方を行い、運動効果を体感することで運動習慣の定着化へ

派遣先	総合型クラブ	市町村
活動場所	教室、サークル、イベント、交流会	公民館活動、高齢者サロン、地域イベント (スポーツ大会等)

各世代の運動やスポーツの取り組みにより県民の健康増進につながる

### ③競技力向上に向けた取り組み

## 大分県競技力向上対策本部事業関係図



令和7年度ジュニアアスリート発掘事業「修了生の活躍について」

	氏名	期分	種目	大会名など	開催地	結果
1	園田 稚	1期生	アーチェリー	ユニバーシティゲームズ	ドイツ	女子団体 優勝
				ワールドカップ第3戦	トルコ	女子個人 第3位
				第79回国民スポーツ大会	滋賀県	成年女子団体 第2位
						個人リカーブ 優勝
第67回全日本ターゲット アーチェリー選手権大会	東京都	リカーブ部門女子 第3位				
2	池田 美緒	4期生	アーチェリー	第79回国民スポーツ大会	滋賀県	少年女子団体 第4位
3	米原 彩華	4期生	ホッケー	第4回NHDPミルナワンカップ	マレーシア	優勝
4	羽田野煌太	5期生	ホッケー	全国高等学校総合体育大会	鳥取県	男子 第5位
5	久留主未来	6期生	アーチェリー	全国高等学校総合体育大会	山口県	女子団体 第2位
				第79回国民スポーツ大会	滋賀県	少年女子団体 第4位

令和7年度ジュニアアスリート発掘事業「9期生の活動について」

「栄養学」

「障害予防」

「修了生からのアドバイス」

「リズムトレーニング」



「ローイング」



「ウェイトリフティング」



「カヌー」



「ライフル射撃」



「フェンシング」



「アーチェリー」



「山本博先生 講話」



「修了式」



# ■「アスナビ・チーム大分プロジェクト」での就職支援 実績一覧

令和8年3月5日現在

※No.1～No.17の選手は、JOCアスナビにエントリーした選手

## ・オリンピックを目指すアスリート

No.	競技	氏名	就職先	入社日
1	アーチェリー	さとう まなみ 佐藤 真奈美	株式会社テレビ大分	2015/4/1
2	フェンシング	おおいし かなな 大石 葉菜	山九株式会社	2015/4/1
3	自転車	いちまる しょうご 一丸 尚伍	社会福祉法人太陽の家	2015/4/1
4	フェンシング	むらかみ さとせ 村上 仁紀	医療法人メディケアアライアンス あおぞら病院	2015/4/1
5	アーチェリー	あまの りょうた 天野 良太	九州乳業株式会社	2015/4/1
6	フェンシング	おおいし りき 大石 利樹	山九株式会社	2017/4/1
7	ウエイトリフティング	あかまつ てつろう 赤松 哲郎	医療法人真成会 釘宮整形外科リハビリクリニック	2017/4/1
8	カヌー (スプリント・カナディアン)	もりた たかひろ 森田 考博	株式会社豊後木材市場	2018/4/1
9	トライアスロン	につた じょうじ 新田 城二	社会医療法人関愛会 佐賀関病院	2018/4/1
10	ライフル射撃	やつかわ りょうすけ 人川 綾佑	株式会社デンケン	2019/4/1
11	フェンシング	なかむら たろう 中村 太郎	山九株式会社	2023/4/1
12	競泳 (自由形)	たなか たいかん 田中 十尊	キッコーマン株式会社	2024/4/1
13	ライフル射撃	のばた みさき 野畑 美咲		2026/4/1(予定)

## ・パラリンピックを目指すアスリート

No.	競技	氏名	就職先	入社日
14	パラ卓球(クラス6)	いたい じゅんき 板井 淳記	旭化成株式会社	2015/2/16
15	パラ卓球(クラス8)	しゅくのべ たくみ 宿野部 拓海	社会福祉法人太陽の家	2015/4/1
16	パラ競泳(SB9)	やすだ せいが 保田 星願	社会医療法人小寺会 佐伯中央病院	2017/4/1
17	パラパワーリフティング	さかもと ちか 坂元 智香	医療法人メディケアアライアンス あおぞら病院	2018/12/21
18	パラアーチェリー	しのはら あや 篠原 彩	社会医療法人三愛会 大分三愛メディカルセンター	2019/1/1

## ・国民スポーツ大会での活躍を目指すアスリート

No.	競技	氏名	就職先	入社日
19	ホッケー	かわうち しんじ 河内 伸仁	株式会社日本シャッター産業	2015/3/2
20	セーリング	ごとう さき 後藤 沙季	株式会社古城	2015/4/1
21	陸上 (100m)	みしろ ゆき 三代 友紀	大分ケーブルテレコム株式会社	2016/4/1
22	ウエイトリフティング	こだま ゆうき 児玉 友稀	新日鐵住金株式会社大分製鐵所	2017/4/1
23	ライフル射撃	こんどう けいじ 近藤 桂司	九州乳業株式会社	2017/4/1
24	陸上 (ハンマー投)	やまもと しょうこ 山本 匠子	小田開発工業株式会社	2017/4/1
25	陸上 (110mH)	にし きょうへい 西 恭平	株式会社古城	2018/4/1
26	ホッケー	ひの ふうと 日野 楓土	株式会社豊和銀行	2018/4/1
27	ホッケー	いとう まさよし 伊東 将慶	株式会社九大技建	2018/4/1
28	ボクシング	あらかし ひろと 荒木 寛人	株式会社池永セメント工業所	2018/4/1
29	レスリング	よなみね ゆうり 與那嶺 優里	医療法人真成会 釘宮整形外科リハビリクリニック	2019/4/1
30	ウエイトリフティング	すなやま こうだい 砂山 昂大	株式会社古城	2019/9/9
31	ホッケー	ともいし こうすけ 友石 晃輔	日伸テクノ株式会社	2019/4/1
32	ライフル射撃	やまだ めぐみ 山田 愛	医療法人真成会 釘宮整形外科リハビリクリニック	2020/4/1
33	ホッケー	たけいし たくろう 武石 拓郎	日伸テクノ株式会社	2020/4/1
34	レスリング	おつな みく 乙名 未来	小田開発工業株式会社	2020/4/1
35	アーチェリー	かとう あやの 加藤 綾乃	株式会社ダイプロ	2020/6/22
36	ライフル射撃	くどう ゆうし 工藤 湧土	豊生商事株式会社	2020/12/1
37	ウエイトリフティング	のなか まさひろ 野中 雅浩	株式会社ビッグサン	2022/4/1
38	陸上 (400mH)	かわの しほ 河野 志歩	小田開発工業株式会社	2022/4/1
39	陸上 (棒高跳)	やまもと あき 山本 亜希	医療法人謙誠会 博愛病院	2023/4/1
40	アーチェリー	よしだ しんや 吉田 真也	株式会社ABタウン	2023/2/11
41	ホッケー	いわた しょうえい 岩田 翔英	コクエイ消毒有限公司	2024/4/1
42	ホッケー	ときまつ はやと 時松 隼都	株式会社日本シャッター産業	2024/4/1
43	ウエイトリフティング	たつかわ ちなつ 立川 千夏	阿比野建設株式会社	2024/4/1
44	ウエイトリフティング	しゅどう ゆうき 首藤 佑希	角栄建設工業株式会社	2024/4/1
45	ソフトボール	おおにし ともや 大西 智也	角栄建設工業株式会社	2024/4/1
46	ホッケー	まつぎ れい 松木 玲	特定非営利活動法人スマイスセレソン	2024/4/1
47	スキー (スペシャルジャンプ・コンバインド)	なりた みさき 成田 岬	協栄工業株式会社	2024/9/9
48	ライフル射撃	もりた りゅうせい 森田 竜成	角栄建設工業株式会社	2025/10/1
49	陸上 (800m)	さとう しゅり 佐藤 十理	特定非営利活動法人スマイスセレソン	2025/4/1
50	柔道	みなみ たいよう 南 太陽	特定非営利活動法人スマイスセレソン	2026/4/1(予定)

# 令和7年度 世界に羽ばたくアスリート強化事業

## 1 実施要項(抜粋)

- 1 趣 旨 世界で活躍しているスポーツ選手および、今後世界で活躍が期待されるスポーツ選手の国際大会への出場に関する経費を補助し、経済的負担を軽減する事により、大分県にゆかりのあるスポーツ選手の国際大会の出場機会を増やし、一層の競技力向上に資する。
- 2 主 催 者 大分県競技力向上対策本部 大分県教育委員会
- 3 実施主体 対象となる競技団体
- 4 対象競技 国スポ正式41競技種目、オリンピック・パラリンピック競技種目、ワールドゲームズ種目
- 5 実施期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日
- 6 対 象 者 国際大会に出場する本県在住及び、本県にゆかりのある選手
- 7 実施内容 国際大会出場に関する遠征費に対して補助を行う
  - ・国際大会とは、国外で開催される公式大会で、3カ国以上の選手が出場している大会とする
  - ・遠征1回に対し、選手の自己負担となる経費の3/4を補助対象経費とする
  - ・遠征1回の補助額の上限を50万円とする
  - ・一人の選手に対する遠征回数についての上限は設けない

## 2 実施者および出場大会

令和8年3月9日現在

	氏名	所属	競技名	大会名		氏名	所属	競技名	大会名
1	三宮 叶夢	宇佐高等学校 3年	ウエイトリフティング	第33回日・韓・中 ジュニア交流競技会	21	岡田 風花	別府翔青高等学校 3年	フェンシング	2025世界ジュニアアカデ選手権
2	越智 ますみ	大分県スポーツ協会	カヌー	①ワールドランキンングレース ベルニス②ワールドランキンングレース オートランラン③	22	米原 彩華	玖珠美山高等学校 3年	ホッケー	NAVJ事業フェンシング男女フルレーレジュニア・ワールドカップ タイ大会
World Ranking Raceブラハ				23	令和7年度ユース(U18)女子日本代表日韓交流事業				
オリンピックホープズ2025				24	令和7年度ユース(U-18)女子日本代表4THIRMANAWAN CUP 2025				
4	北川 和奈	大分豊府高等学校 3年							
5	江藤 純哉	大分市消防局	空手道	プレミアリーグ2025カイロ	25	八川 綾佑	株式会社デンケン	ライフル射撃	Asian Rifle/Pistol Championship 2026
6				プレミアリーグ2025ラバト	26	山田 月琴	東洋大学 1年	ボクシング	ASIAN BOXING FENCING シンガポール2025アジアのボクシングフェデレーションボクシング選手権大会
7				プレミアリーグ2026 ローマ	パラ競技				
8	高橋 遥音	近畿大学 4年	空手道	第12回東アジア空手道選手権大会		氏名	所属	競技名	大会名
9	西山 走	大分市消防局	空手道	プレミアリーグ2025カイロ	1	篠原 彩	大分トヨタ自動車(株)	アーチェリー	TAIPEI Archery Open
10				プレミアリーグ2026 ローマ	2				WORLD ARCHERY PARA SERIES
11	羽田野 礼凱	大分南高等学校 3年	空手道	第12回東アジア空手道選手権大会	3	塩地 優	オムロン太陽(株)	アルテメット	WFDF 2025 世界準いすアルティメット世界選手権大会
12	高橋 遥音	近畿大学 4年	空手道	シリーズAザルツブルク2025	4	城 隆志			WFDF 2025 世界準いすアルティメット世界選手権大会
13	黒田 琉仁	大分県水上スキー連盟(高3)	水上スキー	the 2025 IWWF Asian Waterski & Wakesports Championships	5	三浦 成喜	新東日本学生合気道連盟大分県大会	WFDF 2025 世界準いすアルティメット世界選手権大会	
14	中村 成	大分県水上スキー連盟		2025 マスターズ水上スキー・ウェイクボード選手権大会	6	板井 淳記	旭化成株式会社	卓球	パラスロベニアオープン
15				the 2025 IWWF Asian Waterski & Wakesports Championships	7				ITTFワールド パラスポケーン 2025
16				the 2025 IWWF World Open Water Championships	8				ITTF World Para Future Gold Coast 2026
17	飛瀬 綾音	福岡大学 4年		水上スキー	the 2025 IWWF Asian Waterski & Wakesports Championships	9	藏下 朝子	大分上野丘高校	ITTFワールド パラスポケーン 2025
18	斉脇 倅祐	西南学院高等学校 3年	サーリング	2025 420級 世界選手権大会	10	ITTF World Para Future Gold Coast 2026			
19	濱本 徹夫	大分県サーリング連盟 コーナ	サーリング	2025 420級 世界選手権大会	11	宿野部 拓海	(株)アズーム	ITTFワールド パラスポケーン 2025	
20	松野 雷矢	大分高等学校 3年	ハンドボール	第33回日・韓・中 ジュニア交流競技会	12			ITTF World Para Future Gold Coast 2026	

# ④スポーツツーリズムの推進

## ツール・ド・九州とは？

<b>目的</b>	RWC2019のレガシー 国際スポーツ大会の開催	1. 注目される国際スポーツイベントの開催により九州を世界に発信 2. 国内外からの交流人口の拡大による九州の活性化 3. カーボンニュートラルで環境負荷の少ない自転車ロードレースの活用
-----------	-----------------------------	---

**「ツール・ド・九州」で地域活性化  
経済効果 魅力発信  
九州のリブランディング**

【ツール・ド・九州とは？】  
 国内で開催されている国際認定ロードレースは6つあり、ツール・ド・九州は国内で2番目となる「UCIコンチネンタルサーキット class1」で実施  
 ツール・ド・フランス等の世界最高峰の全レースに出場する権利を持つ18しかない「ワールドチーム」が出場しているのは、ジャパンカップとツール・ド・九州のみ  
 周回コースではなく、町と町を繋ぐラインレースを特徴としており、レースを通じてその地域の魅力(観光地やご当地グルメ)を発信できる強みを持つ  
 日本では珍しいスケールの大きなロードレースであると高評価を頂いており、国内外の多くのファンが注目する国際サイクルロードレース

チームにもカテゴリがあり、出場できるレースのグレードが決まっています。

UCIワールドチーム	世界のトッププロが集まる最上位のカテゴリです。ワールドツアー全レースに出場義務があります。プロシリーズ、コンチネンタルサーキットクラス3のレースにも出場可能。クラス2には出場できません。
UCIプロチーム	プロシリーズ以下に出場可能。(ワールドツアーへは招待で出場可能)
UCIコンチネンタルチーム	プロシリーズ以下に出場可能。
ナショナルチーム	各国代表チーム。プロシリーズ以下に出場可能。
地域チーム/クラブチーム	地域等において組織されるクラブチーム。コンチネンタルシリーズクラス2のみ出場可能。

## ツール・ド・九州 大分ステージの開催状況

<p>【2024大会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○開催日時: 令和6年10月12日(土)</li> <li>○開催地: 別府市・由布市・九重町・日田市 APU⇒大原八幡宮</li> <li>○距離: 137.72km</li> <li>○観客総数: 約30,000人</li> <li>○経済効果: 約10億円</li> <li>○Youtube: 約41,000回視聴</li> </ul>	<p>【2025大会】※大会初の2県共同ステージ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○開催日時: 令和7年10月13日(月)</li> <li>○開催地: 宮崎県延岡市⇒ 佐伯市城山桜ホール前</li> <li>○距離: 119.25km</li> <li>○観客総数: 約44,000人 (宮崎 15,500人、大分 28,500人)</li> <li>○経済効果: 算定中</li> <li>○Youtube: 約58,000回視聴</li> </ul>
<p>&lt;スタートの様子&gt;</p> <p>&lt;サイクルツーリズムとしての魅力発信&gt;</p> <p>&lt;選手と観客の距離感の近い大会&gt;</p> <p>&lt;日常とは違うワクワク感を演出&gt;</p>	<p>&lt;スタート: 延岡市役所前&gt;</p> <p>&lt;フィニッシュ: 佐伯市街地&gt;</p> <p>&lt;イベント会場(佐伯市大手町駐車場)&gt;</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                 4市町でステージイベントを実施することで、前年を上回る3万人が来場イベントに地元の学校やクラブを巻き込むことでシビックプライドを醸成                  日常利用する道路がレース会場となり、どこでも国際大会を開催できる             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                 大会初の県境を跨ぐコースに挑戦。                  各県でステージイベントを実施することで、昨年の大分ステージと比較して                  観客数が1万4千人増加。また佐伯市のステージイベントでは、ハローキ                  ティのステージショーを実施することで、サイクルファン以外にも多く来場             </div>	

# ツール・ド・九州 具体的な取組内容

## 【2024大会】

### ○事前PR事業

開催市町の全てで事前PRイベントを実施し、地元を盛り上げ  
大分市中心部の多くの人が集まる大型イベントのステージにも登壇  
全15回イベントを実施 チラシやノベルティを配布



### ○広報・地域連携事業

開催地を象徴するモニュメントを大会カラーに装飾することで機運を醸成  
各市町のコースや観光PR動画を作成し、サイクルツーリズムを後押し  
YouTubeだけではなく、TverにもCM掲載することで幅広い人に広報



### ○当日イベント事業

弱虫ペダル作者「渡辺先生」やマークパンサーによるステージイベント  
地元の学生等もイベントに巻き込み、シビックプライドを醸成  
副賞として開催地の特産品を表彰式で贈呈することで、国内外にPR



## 【2025大会】

### ○事前PR事業

大会カウントダウンイベントを実施し地元を盛り上げるとともに、共同開催の  
宮崎県延岡市など県外でのPRも実施  
全26回イベントを実施 チラシやノベルティを配布



### ○広報・地域連携事業

開催告知動画やスパークルおおいたを活用し、コースやサイクルスポットを発  
信するPR動画を作成。CM放送やTverだけでなく、トリニータホーム戦での放  
送や、佐伯市商工会議所のサイネージを活用し、幅広く発信。



### ○当日イベント事業

ロードレースに興味がない方も楽しめるように集客力のあるハローキティの  
ステージショーやくまもん等によるステージイベントを実施  
コース沿線に観戦スポットを設けることで、多くの人が観戦



# 大分県スポーツ合宿事業費助成金

## 大分県スポーツ合宿誘致推進協議会

県内のスポーツ資源と観光資源を活かし、国際的なスポーツ大会や事前キャンプ、スポーツ合宿を誘致するため、行政（県、市町村）と民間（競技団体、観光団体、施設管理者）が一体となった組織を令和2年10月に設立。

### 【構成団体】

- ・大分県
- ・県内18市町村
- ・(公財)大分県スポーツ協会
- ・(公社)ツーリズムおおいた
- ・(株)大宣 大分スポーツ公園事業所

### 【事務局】

〒870-8501  
大分市大手町3丁目1番1号  
大分県スポーツ振興課  
担当者：今井、塚本  
連絡先：097-506-2146  
メール：tsukamoto-ryo@pref.oita.lg.jp

スポーツ合宿誘致



キャンプ実施



合宿費用助成

助成金  
県 1/2 負担  
市町村 1/2 負担



## 合宿誘致及び助成金の対象

〔ナショナルチーム〕 ○日本代表 ・侍ジャパン ・サムライブルー ・おりひめジャパン ・サクラセブンズ etc...	<b>最大500万円</b> ※一人当たりの上限は25万円  補助率10/10
〔トップチーム〕 ○プロスポーツチーム ・リーグワン ・SVリーグ etc... ○全国大会優勝経験チーム ・箱根駅伝 ・全日本実業団選手権大会 etc...	<b>最大300万円</b> ※一人当たりの上限は15万円  補助率10/10
〔ベスト8チーム〕 ○全国大会上位入賞経験チーム etc...	<b>最大150万円</b> ※一人当たりの上限は7.5万円  補助率 1/2

## 合宿誘致競技種目の拡大について

現状	・陸上競技（長距離） ・ラグビー 等に集中している
	にぎわい創出に向けたメジャースポーツ誘致

にぎわい創出に向けたメジャースポーツ誘致

目標	・プロ野球 ・サッカー ・バスケットボール ・バレーボール	ナショナルチーム トップチーム 合宿増加
----	--	----------------------------

## 大分県スポーツ合宿誘致推進協議会 ～プロスポーツチーム等による合宿誘致件数～

目標指標	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7目標
プロスポーツチーム等による合宿誘致件数	10件	11件	17件	24件	25件	26件

団体名	競技	市町村	時期	人数
1 木下テールテニスクラブ	卓球	大分市	4月	17
2 フェンシングサーブル日本代表	フェンシング	大分市	6月	25
3 ラグビー男子15人制U20日本代表	ラグビー	別府市	6月	46
4 堺プレイヤーズ	バレーボール	大分市	7月	17
5 関西大学陸上競技部	陸上競技	竹田市	8~9月	22
6 ラグビー男子7人制日本代表	ラグビー	別府市	10月	26
7 武蔵川部屋	相撲	別府市	10月	20
8 横浜キヤノンイーグルス	ラグビー	別府市	10~11月	68
9 豊田自動織機シャトルズ愛知	ラグビー	別府市	10~11月	73
10 九州電力キューデンヴォルテクス	ラグビー	大分市	10~11月	70
11 園田学園女子大学ソフトボール部	ソフトボール	竹田市	11月	45
12 クボタスピアーズ船橋・東京ベイ	ラグビー	別府市	11月	71
13 ラグビー女子7人制日本代表	ラグビー	別府市	12月	23
14 楽天イーグルス辰巳	野球	大分市	12月	8
15 チーム甲斐拓也合同自主トレ	野球	大分市	1月	20
16 帝京大学女子柔道部	柔道	大分市	1月	25
17 ラグビー男子15人制韓国代表	ラグビー	別府市	1月	50
18 トヨタレッドテリアーズ	ソフトボール	大分市	2月	20
19 青山学院大学陸上競技部	陸上競技	大分市	2月	36
20 慶応義塾大学野球部	野球	中津市	2月	39
21 カヌー・スラローム日本代表	カヌー	豊後大野市	2月	20
22 東海大学陸上競技部	陸上競技	佐伯市	3月	18
23 日本体育大学相撲部	相撲	日田市	3月	41
24 明治大学射撃部	射撃	由布市	3月	14
25 韓国代表射撃部	射撃	由布市	3月	9
合計				823

令和7年度 大分県スポーツ合宿誘致推進協議会 合宿受入予定

※実施済を含む

	団体名	競技	市町村	時期
1	フェンシングサーブル日本代表	フェンシング	大分市	4月
2	フェンシングサーブル海外代表	フェンシング	大分市	4月
3	ラグビー男子15人制U20日本代表	ラグビー	大分市	4～5月
4	ラグビーニュージーランド学生代表	ラグビー	別府市	5月
5	ラグビー女子日本代表	ラグビー	別府市	5月
6	堺ブレイザーズ	バレーボール	大分市	7月
7	男子セブンス日本代表	ラグビー	別府市	7・8月
8	関西大学陸上競技部	陸上競技	竹田市	8月
9	静岡ブルーレヴズ	ラグビー	別府市	9月
10	韓国OK金融グループラグビー部	ラグビー	別府市	9月
11	世界陸上ポルトガル陸上代表	陸上競技	大分市	9月
12	九州国際大学ウエイトリフティング部	ウエイトリフティング	国東市	9月
13	横浜キヤノンイーグルス	ラグビー	別府市	10月
14	ラグビー男子日本代表(FWのみ)	ラグビー	別府市	10月
15	トヨタヴェルブリッツ	ラグビー	別府市	10月
16	キューデンヴォルテクス	ラグビー	大分市	11月
17	クボタスピアーズ船橋・東京ベイ	ラグビー	別府市	11月
18	豊田自動織機シャトルズ愛知	ラグビー	別府市	11月
19	チーム甲斐合同自主トレ	野球	大分市	1月
20	福岡ソフトバンクホークス川瀬選手自主トレ	野球	国東市	1月
21	青山学院大学陸上競技部	陸上競技	大分市	2月
22	明治大学射撃部	射撃	由布市	2月
23	慶應大学体育会野球部	野球	中津市	2月
24	帝京大学女子柔道部	柔道	大分市	2月
25	東京医療保健大学女子バスケットボール部	バスケットボール	中津市	2～3月
26	日本体育大学相撲部	相撲	日田市	3月
27	日本体育大学男子ソフトボール部	ソフトボール	大分市	3月
28	トヨタレッドテリアーズ	ソフトボール	大分市	3月
29	青山学院大学陸上競技部(短距離ブロック)	陸上競技	佐伯市	3月
30	東京女子体育大学新体操部	新体操	別府市	3月
	合計			

# 地域活性化に資するスポーツ施設の調査報告書について

## ■ 大分県スポーツ施設整備の方向性

### 大分県スポーツ公園・高尾山自然公園エリア

- 九州随一の集客力・施設機能を持つものの、利用者がスポーツ愛好家に限られており、公園の利便性や快適性を高める賑わい機能が不足

### 大洲総合運動公園・津留運動公園エリア

- 別大興産スタジアム等の施設老朽化、市営陸上競技場の陸上検定更新タイミングと、施設の転換点であるため一体的な見直しが必要
- 野球場の長寿命化対策で今後30億円を要するが、施設機能の不足により興行誘致は困難

### 屋内競技用プール

- 大分県は九州で唯一50mの屋内プールが存在しないため、社会的価値や競技力向上の観点で課題
- 整備・維持コストが高いにもかかわらず、低い波及効果

大規模スポーツ施設や更なる賑わい創出機能を整備することにより、“競技スポーツの聖地化”と“大分県をリードする賑わい空間”を創出し、九州を代表するスポーツ×エンタメエリアとすべき

波及効果が期待できない以上、整備費を圧縮できる既存施設の改修や周辺自治体の市営プール及び学校施設プール等の集約化を検討すべき

#### クラサドーム

- J1基準のスタジアムとして、引き続きサッカーやラグビー等の興行で活用
- 九州随一のキャパを活かし、国際イベント・大会、コンサート等の誘致を推進すべき

#### 武道スポーツセンター

- 引き続き多目的な利活用による高い稼働率維持に期待
- プロスポーツ興行、合宿(特に柔道)誘致を推進すべき

#### その他施設

- スポーツ愛好家以外の来園者(特にファミリー層)も取り込める賑わい機能や宿泊機能の具備が望まれる

#### 別大興産スタジアム

- 地域の核となる球場として、プロ野球・キャンプ誘致、合宿ができるボールパークにしていくべき
- 屋内練習場等を活用した、野球以外のスポーツも取り込む多機能化も要検討

#### 大洲総合運動公園

- 市民利用に適した立地と多種目な施設機能を活かした“市民がスポーツをする場”とすべき
- 津留運動公園との一体的な運用検討が必要

#### 津留運動公園

- 既存利用者、駐車場数、スポーツ公園との棲み分け等を考慮すると、市民利用中心が望ましい
- 交流拠点として、興行も開催できるように大洲総合運動公園との一体的な運用を検討すべき

#### 別府市青山プール

- 土地制約上難しいところはあるが、現立地での屋内化の可否を所有自治体を中心に検討すべき

#### その他公共プール

- 周辺自治体と協力し、市営及び学校施設プールの利用状況や財務状況等を踏まえ、集約化や整備場所等を検討すべき

## 施設の活用方向性

## 施設整備の必要性

### 現状維持

各種改修が必要な時期に差し掛かっていることから、計画的な保全工事が必要

### 現状維持

興行誘致に向けて、メインアリーナに大型ビジョン設置等を検討すべき

### 移転再整備

ポールバークを中心とした多機能化や賑わい創出のためには、大洲ではなく大分スポーツ公園に移転再整備すべき

### 県と市による一体的見直し

隣接する利点を最大限に活かすため、県と市で一体的な見直しを行うべき  
 県営：大洲総合運動公園（大洲アリーナは市営）  
 市営：津留運動公園


### 既存施設改修 or 集約化による再整備

他スポーツ施設よりも整備・維持コストが高いことが想定される競技用プールを持続的に維持管理していくために、低コストな既存施設改修やトータルコストを低減できる集約化による再整備を検討すべき

# ジュニアアスリート世界挑戦事業

## 1 現状・課題

- ・大分市内の総合運動公園の再ゾーニングを踏まえ、スポーツ公園でのパークPFIなど民間活力を活用したにぎわい創出やスポーツ施設の整備に向けた検討 → 導入には有識者による検討や事業者選定など期間を要する
- ・子どもたちが世界にチャレンジできるIMGアカデミー※のスポーツクリニックがR8.4月に豊後大野市で開催予定〔開催概要〕 日程：R8.4.2～3、会場：大原総合運動公園・体育館  
種目：テニス、サッカー、バスケット、対象：県内外小中学生480人、参加料：1万円、行政支援：県・総合補助金、市・施設使用料1/2減免

 再ゾーニングによる施設整備等の完成までの間、IMGアカデミーと連携し県内のジュニアアスリートの育成やスポーツ公園を最大限有効に活用できるように取り組みたい。

※IMGアカデミーとは

- ・アメリカ（フロリダ州）にある世界トップレベルのスポーツ学校
- ・世界中から長期・短期の留学を受け入れ（留学費用は14,000千円/年、サマーキャンプは1,000千円）

## 2 取り組み内容

### 1 県内のジュニアアスリートへのサマーキャンプ渡航支援

- ・豊後大野市でのクリニック参加者から最大で16名（MVP6名、準MVP10名）がIMGのサマーキャンプへ招待される。
- ・1週間程度の滞在で、世界中から集まった子どもたちと指導を受ける。  
MVP：レッスン料や宿泊費は無料、渡航費のみ自己負担  
準MVP：レッスン料一部割引、宿泊費・渡航費自己負担

世界に羽ばたくジュニアアスリートを支援するため、渡航費の一部を支援したい

（支援内容案）

- ・補助率 3/4※ ・補助上限 375千円/人
- ・積算 県内児童派遣人数が不確定のため、10人分を計上
- ・補助条件 クリニックでアカデミーのコーチから選出されること  
支援後5年間は競技を続けること  
（怪我などのやむを得ない場合を除く）

### 2 スポーツ公園でのスポーツクリニックの開催

- ・豊後大野市での取り組みを踏まえ、スポーツ公園において競技団体やスポーツ公園指定管理者による実行委員会形式で開催

〔開催概要〕

日程：R9.3月、会場：大分スポーツ公園各施設  
主催：大分県IMGスポーツクリニック実行委員会（仮）  
（大分県、県教育委員会、（公財）大分県スポーツ協会、大分県事務局（スポーツ公園指定管理者））  
種目：サッカー、野球、バスケット、バレー、陸上、テニス  
対象：小中学生1,000人



県内からの参加料について10千円割り引くよう支援を実施

## ⑤障がい者スポーツの推進

### 本県における障がい者スポーツに係る主な取組報告

#### 1 第20回大分県障がい者スポーツ大会開催事業

下記日程にて、大会を開催し、延べ1,153名（実人員703名）の選手が参加。

##### (1) 大分県障がい者スポーツ協会主管競技

競技	期日	会場
卓球（身・知・精）	5/10（土）	大分県身体障害者福祉センター
ボッチャ（身）	5/11（日）	大分県身体障害者福祉センター
陸上競技（身・知・精） フライングディスク（身・知・精）	5/17（土）	クラサスドーム大分 クラサスグラウンド
水泳（身・知・精）	5/18（日）	大分市営温水プール

##### (2) 障がい者スポーツ団体の主催・主管競技

競技	期日	会場
アーチェリー	4/6（日）	別府市営実相寺アーチェリー場
ボウリング	5/24（土）	タワーボウル植田店



#### 2 第44回大分国際車いすマラソン開催事業

##### (1) 事業概要

- ・ 昨年11月16日（日）午前10時、大分県庁前をスタート、ジェイリーススタジアムをフィニッシュとする国際陸上競技連盟／日本陸上競技連盟公認コースで実施

##### (2) レース概況

- ・ 海外13カ国から34名、国内31都道府県から143名、計177名が出走。うち、マラソン57名、ハーフマラソン105名、計162名が完走した。

- ・ マラソン男子では、最速クラスの T34/53/54 でマルセル・フグ選手（スイス）が、自身の持つ世界記録まであと4秒と迫る好タイムで12度目の優勝を飾った。
- ・ T51 クラスでピーター・ドゥ・プレア選手（南アフリカ）が大会9連覇を成し遂げた。
- ・ T33/52 は、上与那原寛和選手（沖縄）が5度目の優勝を飾った。
- ・ マラソン女子では、T34/53/54 でマニュエラ・シャー選手（スイス）が序盤から独走し、5度目の優勝を果たした。



### 3 第24回全国障害者スポーツ大会派遣事業

- ・ 「わた SHIGA 輝く障スポ」（令和7年10月25日（土）～27日（月））

会場：平和堂HATOスタジアム 他

- ・ 大分県選手団52名（選手28名、役員24名）が参加し、金メダル12個、銀メダル8個、銅メダル3個、計23個のメダルを獲得



### 4 持続的なスポーツ環境構築によるパラスポーツ普及推進

支援学校や競技団体、パラスポーツ指導者協議会、社会福祉事業団と連携を行い、県内外で定期的な体験会などの開催を行うことで、パラスポーツの理解促進及び普及を行った。

#### (1) 体験会

- ・ 学校や施設等での体験会を通じて、多くの参加者がパラスポーツに触れる機会を得ることができた。

R7実績：18回 参加者518名

#### (2) 総合型地域スポーツクラブにおける障がい者の参加モデル構築事業

- ・ 総合型地域スポーツクラブにおいて、障がいのある方を受け入れるモデルを実践し、定期的なプログラムの実施や指導者・支援者の育成を進めた。

R7実績：11回 参加者222名



## 5 パラスポーツ普及強化事業

大分国際車いすマラソン及びパラスポーツのPR動画を制作しYouTubeやSNS等の各種媒体で広報を行うことで、大分国際車いすマラソンの魅力発信及びパラスポーツの普及と理解促進を図った。

### ◎大分国際車いすマラソン分※日本語字幕版と英語字幕版あり

#### ①大会の歴史

(<https://youtu.be/qSBIhVon6k>)



#### ②トップアスリート集結

(<https://youtu.be/BbaW-XFwpg>)



#### ③一般ランナー

(<https://youtu.be/qKpTmG6Bshw>)



#### ④ボランティア

(<https://youtu.be/vKwdjnrlHcg>)



#### ダイジェスト版(①～④)

(<https://youtu.be/a9QVSd4i3LM>)



### ◎パラスポーツ分

#### ①パラスポーツの種類と歴史

(<https://youtu.be/u0RChiwIYFg>)



#### ②パラスポーツ体験会

(<https://youtu.be/xg07z3dG8WM>)



### ③パラスポーツ選手

(<https://youtu.be/ruKic83Qj6c>)



### ④パラスポーツ指導員

(<https://youtu.be/1e1EOGpma3Y>)



## 6 世界に羽ばたくパラアスリート強化事業

世界で活躍している選手及び今後世界で活躍が期待される選手の経済的負担を軽減し、国際大会の出場機会を増やすことを目的に、国際大会遠征費を補助。

R 7実績：12件

選手名	大会名	開催国
板井淳記選手（卓球）	パラスロベニアオープン	スロベニア
宿野部拓海選手（卓球）	ITTF ワールド パラスポケーン 2025	アメリカ
板井淳記選手（卓球）	ITTF ワールド パラスポケーン 2025	アメリカ
藏下朝子選手（卓球）	ITTF ワールド パラスポケーン 2025	アメリカ
城隆志選手（アルティメット）	WFDF 2025 世界車いすアルティメット世界選手権大会	リトアニア
三浦成喜選手（アルティメット）	WFDF 2025 世界車いすアルティメット世界選手権大会	リトアニア
塩地優選手（アルティメット）	WFDF 2025 世界車いすアルティメット世界選手権大会	リトアニア
篠原彩選手（アーチェリー）	TAIPEI Archery Open	台湾
板井淳記選手（卓球）	ITTF World Para Future Gold Coast 2026	オーストラリア
宿野部拓海選手（卓球）	ITTF World Para Future Gold Coast 2026	オーストラリア
藏下朝子選手（卓球）	ITTF World Para Future Gold Coast 2026	オーストラリア
篠原彩選手（アーチェリー）	WORLD ARCHERY PARA SERIES	タイ



# 「大分県の学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針【見直し】」について①

## 1 国の改革の方向性について

国の動向や今までの県の取組を踏まえ、県の実情に沿って方針を見直す必要がある

R8年度～R10年度 改革実行期間(前期)
R11年度～R13年度 改革実行期間(後期)

**休日**

- 次期改革期間内に、原則、全ての部活動において地域展開を実現
- 地域の実情等を踏まえつつ、できるだけ前倒しでの実現を目指すことが望ましい

**平日**

- 地域の実情等に応じた取り組みを進める
- 国で検証を行い、各種課題を解決しつつ、更なる改革を推進

公立中学校が主な対象

## 2 「大分県の学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する方針」骨子の新旧比較

<p><b>1 学校部活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校部活動を実施する場合の適正な運営等の在り方について示す ※週当たり2日以上の休養日を設定</li> </ul>
<p><b>2 新たな地域クラブ活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校等の連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す ※適切な休養日等の設定(学校部活動と同様)</li> </ul>
<p><b>3 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新たなスポーツ・文化芸術環境の整備にあたり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す ※改革推進期間終了後(R7末)、見直しを行う</li> </ul>
<p><b>4 大会等の在り方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等に応じた大会等の在り方を示す</li> </ul>

**現**  **見直し**

<p><b>1 部活動改革の基本的な考え方・方向性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 改革の理念</li> <li>○ 取組の類型・名称(地域展開・地域連携)</li> <li>○ 改革の方向性(基本方針・期間・留意事項)</li> </ul>
<p><b>2 地域クラブ活動の在り方及び認定制度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域クラブ活動の在り方</li> <li>○ 地域クラブ活動に関する認定制度(趣旨・認定の効果・制度概要等)</li> </ul>
<p><b>3 地域展開の円滑な推進にあたっての対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 推進体制の整備</li> <li>○ 各種課題への対応(運営団体・実施主体の整備、指導者の確保・育成等)</li> <li>○ 生徒のニーズの反映及び地域クラブ活動への参加促進等</li> </ul>
<p><b>4 学校部活動の在り方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 適切な運営のための体制整備</li> <li>○ 適切な指導・安全安心の確保</li> <li>○ 適切な活動時間・休養日の設定</li> <li>○ 生徒のニーズを踏まえたスポーツ・文化芸術活動の整備</li> </ul>
<p><b>5 大会・コンクールの在り方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の参加機会の確保</li> <li>○ 大会等への参加の引率や運営に係る体制の整備</li> <li>○ 生徒の安全確保</li> <li>○ 全国大会をはじめとする大会等の在り方</li> </ul>
<p><b>6 関連する制度の在り方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師の兼職兼業 等</li> </ul>

# 「学校部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する大分県の方針(案)」について

## 1 新たな国のガイドライン

- 急激な少子化が進む中でも、将来にわたる生徒のスポーツ・文化芸術活動の確保・充実等を図るため、令和8年度から令和13年度までの「改革実行期間」における部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関して、国としての基本的な考え方や具体的な取組方針等を示すもの

## 2 県の方針((案))

- 急激な少子化が進む中でも、将来にわたる生徒のスポーツ・文化芸術活動の確保・充実等を図るため、令和8年度から令和13年度までの「改革実行期間」における部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関して、県としての基本的な考え方や具体的な取組方針等を示すもの

## 3 ポイントについて

### 【改革期間について】

- 休日については、令和13年度末までに、原則、全ての部活動において地域展開の実現を目指す
- 平日については、国の検証を踏まえ、地域の実情等に応じた取組を進める

### 【地域クラブ活動における制度について】

- 地域展開により実施される「地域クラブ活動」について、競技力向上を主目的としたチーム・スクール等との区別や質の担保等の観点から、国が示す認定要件及び認定手続き等に基づき、市町村が認定を行う

「認定要件」

- ①活動の目的・理念 ②活動時間・休養日 ③参加費等 ④指導体制 ⑤安全確保 ⑥運営体制 ⑦学校等との連携

### 【大分県独自の取組について】

- 週当たりの活動時間が11時間程度の範囲内に収まり、かつ、週2日以上休養日が設けられるのであれば、平日の活動を週3日以内に抑えつつ休日に2日連続して地域クラブ活動を行うことができる

「活動時間」

- 平日：2時間程度以内 休日：1日3時間程度以内 週：11時間程度の範囲内

### (3) 第2期大分県スポーツ推進計画の改訂について

#### ①県民のスポーツに関する実態調査の報告

別添資料2 参照

#### ②第2期大分県スポーツ推進計画の改訂スケジュールについて

##### 【大分県スポーツ推進計画（改訂版）スケジュール】

- ・ 令和7年10月～11月 県民のスポーツに関する実態調査実施
- ・ 令和8年 1月 県民のスポーツに関する実態調査報告書作成
- ・ 令和8年 6月（下旬） 第1回フォローアップ委員会開催  
＜見直しの方針、基本フレーム等を作成＞
- ・ 令和8年 9月（下旬） 第2回フォローアップ委員会開催  
＜改訂版（素案）を作成＞
- ・ 令和8年10月 令和8年度第1回大分県スポーツ推進審議会開催  
＜改訂版（素案）を審議＞
- ・ 令和8年11月 教育委員会で、改訂版（案）に関する意見聴取
- ・ 令和8年11月～12月 パブリックコメント実施
- ・ 令和9年 2月 令和8年度第2回大分県スポーツ推進審議会開催  
＜改訂版（成案）を審議 ※通常議案審議を含む＞
- ・ 令和9年 2月 教育委員会で改訂版（成案）を協議・決定
- ・ 令和9年 3月 県議会常任委員会で改訂版（成案）を報告  
→年度末に公表

## 大分県スポーツ推進審議会条例

(昭和三十七年三月三十一日条例第十八号)

(設置)

第一条 スポーツ基本法（平成二十三年法律第七十八号。以下「法」という。）第三十一条の規定に基づき、大分県スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第二条 審議会は、法第三十五条に規定するもののほか、教育委員会又は知事の諮問に応じて、スポーツの推進に関する次に掲げる事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して教育委員会又は知事に建議する。

- 一 法第十条第一項に規定する地方スポーツ推進計画に関すること。
- 二 スポーツの施設及び設備の整備に関すること。
- 三 スポーツの指導者の養成及びその資質の向上に関すること。
- 四 スポーツの事業の実施及び奨励に関すること。
- 五 スポーツの団体の育成に関すること。
- 六 スポーツによる事故の防止に関すること。
- 七 スポーツの技術水準の向上に関すること。
- 八 前各号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。

(定数)

第三条 審議会の委員の定数は、二十名以内とする。

(任命)

第四条 審議会の委員は、スポーツに関する学識経験のある者及び関係行政機関の職員のうちから、知事の意見を聴いて、教育委員会が任命する。

(任期)

第五条 審議会の委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 審議会の委員は、再任されることができる。

(会長等)

第六条 審議会に、会長一名及び副会長二名を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によってこれを定める。
- 3 会長は、審議会を代表し、議事その他の会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第七条 審議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 審議会は、在任委員の半数以上が出席しなければ、会議を開き、議決をすることができない。
- 3 審議会の会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第八条 審議会の庶務は、教育庁において処理する。

(細則)

第九条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営その他必要な事項については、審議会が定める。

附 則 [抄]

- 1 この条例は、昭和三十七年四月一日から施行する。  
附 則 [平成十六年三月三十一日条例第三十三号]  
この条例は、平成十六年四月一日から施行する。  
附 則 [平成二十三年十二月十五日条例第三十四号]

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 1 この条例の施行の際現にスポーツ基本法による改正前のスポーツ振興法（昭和三十六年法律第四百一十一号）第十八条第四項の規定により任命されている大分県スポーツ振興審議会の委員は、改正後の大分県スポーツ推進審議会条例第四条の規定により任命された大分県スポーツ推進審議会の委員とみなす。